

事業 優先順位		3		細事業:英語教育推進事業				整理 番号		03	
目的		英語による「話す」「聞く」の実践的コミュニケーション能力を育成するとともに外国語や外国および日本文化への興味関心を深める。									
目標		英語に興味を持ち、英語をすすんで使おうとする子どもの拡大を図る。									
事業 実施主体		直営		事業開始 年度		平成23年度		根拠 法令			
事業費・財源				平成25年度		平成24年度		比 較		コスト 情報・従事 職員数 内訳 参考	
		事業費(決算額)(千円)		47,426		47,728		-302			
		一般財源		45,837		46,090		-253			
		国庫支出金		1,589		1,638		-49			
		地方債		0		0		0			
		その他特定財源		0		0		0			
				0							
				0							
今後の 方向性		英語によるコミュニケーションに児童生徒が興味・関心や意欲を持って取り組めるよう、授業の改善や実践力を高める研修の実施、教材開発を進めていく。									
評価		妥当性		効率性		有効性		対象者		児童・生徒及び保護者	
		A		A		A					

細事業：英語教育推進事業

1. 外国人講師による英語指導事業

市立各小学校で国際理解教育の一環として、5・6年生は週1回、3・4年生は隔週1回の外国語活動を実施した（ただし、教育課程特例校については、1年生から実施）。授業は学級担任と外国人英語指導員とのチームティーチング（複数の教師が協力して教育指導にあたる方式）で進め、「聞く」「話す」活動を中心として、コミュニケーション能力の育成に努めた。

市立各中学校においては、国際化時代に対応できる生徒の育成をめざして、英語の Speaking・Listening 能力の向上とともに外国文化などへの興味・関心を幅広く高めることを目的として、英語科において、学級担任と外国人英語指導員とのチームティーチングによる授業を実施した。

2. 使える英語プロジェクト事業

義務教育段階で自分の考えや意見を英語で伝えられる生徒の育成をめざして、大阪府補助金（使える英語プロジェクト事業費補助金 1,589,029円）の活用により、英語教育強化のためのプログラム開発、英語教室の整備、英語能力検定テストへの参加支援等を行った。

3. イングリッシュフェスティバル

日頃の学習の成果を踏まえ、児童・生徒たちが自らの意見を英語で発表する機会（詩の朗読、歌、暗唱、スピーチ、プレゼンテーションなど）として、市内4高等学校との共催で「第10回河内長野イングリッシュフェスティバル」を開催（開催日：平成25年10月5日、参加者数：小中学生は75名）した。